児童虐待の早期発見のためのチェックシート(教育関係者用)

1. 児童の様子

けがや傷が目につく
学用品などが整っていない、または不足している
時々、体調不良を訴える
身体や服が清潔でない
爪が手入れされていない
落ち着きがない
遅刻が多い
忘れ物が多い
給食での過食, おかわりを繰り返す
教職員に甘えてくる

2. 保護者の様子

欠席の連絡がない
保護者が、懇談やPTAの会合にあまり参加しない
連絡帳の記載への返事がない
病気や事故が発生した時、保護者の対応が遅い
教材費や給食費を滞納している
提出物や準備物が用意されていない

<使用上の注意>

- ※小学校において、児童虐待を早期発見するための 着目点を示しています。
- ※該当する項目数の多少によって、 虐待かどうかを 判定するものではありません。
- ※赤い太字で示された項目に特に注目して下さい。
- ※いくつかの項目は、虐待でなく障害やその他の要因が 原因となっている場合があります。

チェックにあたっては十分ご注意下さい。

作成者 広島県·広島県歯科衛生連絡協議会